

家系図文化を、次の世代へ。

戸籍は150年で消える――失われゆく家族の記録を未来へつなぐために、取材対応を開始
家系図作成代行センター株式会社（北海道札幌市、代表取締役・行政書士 渡辺宗貴）は、家系図文化の普及と、記録が失われつつある現状を広く伝えるため、メディア取材対応を開始いたしました。
当社はこれまで累計5000件以上の家系図調査を行い、現在も月300件以上のご相談をいただいております。

■ 戸籍は永遠に残るものではない

戸籍には保存期間があり、古い戸籍は順次廃棄されていきます。

そのため、何もしなければ先祖の記録は少しずつ失われていくという現実があります。

■ 家系図は「今しか作れない」

調査の現場では、明治初期の戸籍まではたどれても、それ以前の記録が失われているケースや、戦争・災害などの影響で家系が途切れてしまうこともあります。

こうした背景から、近年では終活やルーツ探しの一環として、家系図調査への関心が高まっています。

■ 家系図は「家族の物語」

家系図は単なる記録ではなく、その家の歴史や時代背景を映し出すものです。

記録が途切れた理由も含めて、次の世代へ伝えることに大きな意味があります。

■ 代表コメント

家系図の調査をしていると、「あと数年早ければ分かったかもしれない」という場面に何度も出会います。

家系図は過去を調べるものですが、同時に未来へ残すものでもあります。

■ 取材・出演について

取材・出演の内容や企画に応じて、全国対応も可能です。

オンライン取材やコメント提供、監修のみのご依頼にも柔軟に対応しております。

▼取材のご相談はこちら

<https://e-kakeizu.com/press/>

■ 会社概要

家系図作成代行センター株式会社（北海道札幌市）

代表：渡辺宗貴（行政書士）

著書：

『わたしの家系図物語』

『千年たどる家系図物語』

▼メディア掲載実績

<https://e-kakeizu.com/office0/office6/>

※本件に関する画像はこちらからダウンロードできます

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000012.000039916.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000012.000039916.html)

